

3-1 広域活動組織において事務作業の軽減(事務委託等)に取組み、集落間の連携が図れている組織

きたかしま

北鹿島ふるさと会農地・水・環境保全管理協定運営委員会（鹿島市）

- 本地域は、鹿島市の北鹿島地区のほぼ全域をカバーする広域組織で、米麦の生産を中心にトマトや苺など施設園芸、海苔の養殖などが盛んである。
- 北鹿島地区内の全11集落と土地改良区・振興会・老人会・カントリー・学校・PTAなど各種団体が参加しており、事務効率化を図る為、鹿島市土地改良区へ事務委託をしている。
- 北鹿島小学校と各種団体が連携した「田んぼの学校」で子供達へ農業体験の場を提供し、啓発・普及と地域の交流に力を入れている。

【地区概要】

- ・取組面積 451.9 ha
(田:399.6 ha、畑:52.3 ha)
- ・資源量
開水路:62 km、パイプライン:70 km、
農道:71 km
- ・主な構成員
農業者、非農業者、自治会、婦人会、子供会他
- ・交付金 39,419,340円(H27)

農地維持支払及び資源向上支払(共同)20,791,060円
資源向上支払(長寿命化) 18,628,280円

活動開始前の状況や 取組を開始する経緯

- 制度に取組む以前は、各集落の公役で草刈り・泥上げを行っており、農家の負担金で施設の維持管理をしていた。
- 平成17年に制度の先駆けで北鹿島地区の中村区がモデル地区となり活動に取組んだ。その後、北鹿島の区長会と振興会が母体となり、鹿島市土地改良区に事務委託をする形で広域活動組織として発足した。
- 水路や農道は農業者だけのものではないという考えのもと、住民全体で地域資源の保全に努めている。



主な取組内容

- 草刈り・泥上げ(4月・5月・9月)
各区ごとに行っている。
- 水路の浚渫(11月)
各区ごとに行っている。
- 学校教育との連携(6月～12月)
北鹿島小学校の授業の一環として「田んぼの学校」を開催し、子供達に農業体験をさせている。構成員である振興会・PTA・土地改良区などと連携を図っており、広域組織の横の繋がりを生かした活動である。
- 水質浄化による保全活動(8月)
子供達を交えてEM泥団子を作り、学校近くの水路の水質浄化を行っている。



取組の効果や現状、 今後について

- 広域組織であるため、対象農用地のない集落の水路も保全することができ、小さい組織では出来ない活動にも取り組める。
- 月に1回は会議を行い、各集落間の意見を取り入れ、組織としての連携を図っている。
- 土地改良区に事務委託をすることで、各集落の事務負担が軽減された。
- 「田んぼの学校」にケーブルTVが取材にくるなど、活動のPRにつながった。
- また、全戸配布の広報紙を年1回発行し、啓発普及を行っている。
- 地域の子供達を交えた活動により非農家との交流が深まり、環境をみんなで守っていくという意識付けが出来た。

